

決算の報告

~End of the fiscal period~

■問い合わせ 財政課 ☎72-8249

平成30年度（30年4月1日～31年3月31日）の市の決算が、9月の市議会通常会議で認定されました。

■歳入（収入）

地方交付税などが減額となったものの、市税のうち個人市民税、法人市民税、固定資産税と軽自動車税が増加、国庫支出金や地方消費税交付金などが増加したことにより、歳入全体としては前年度比4.7%の増額となりました。

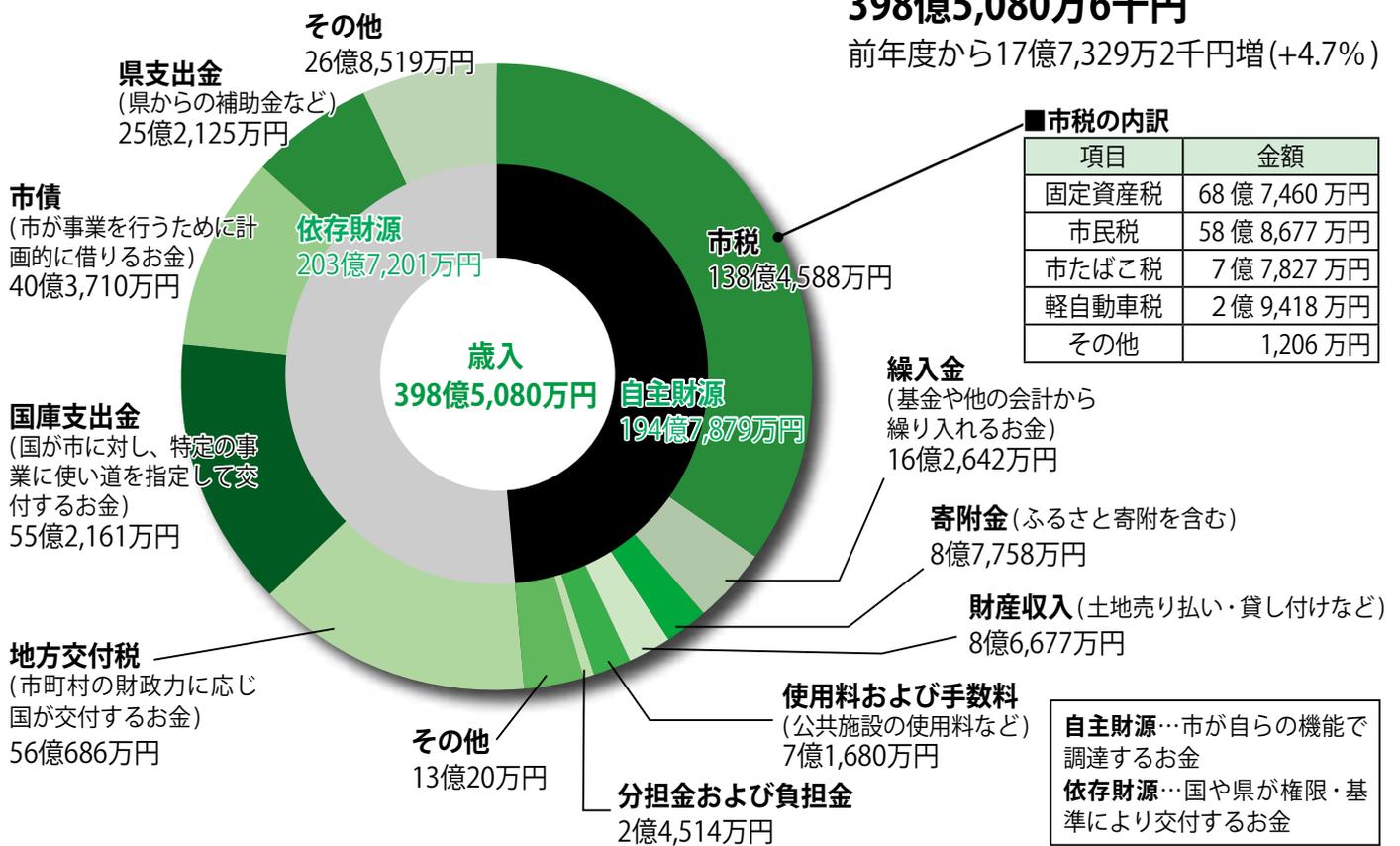
■歳出（支出）

義務的経費のうち公債費が大きく減少しましたが、大規模工場の立地に伴う幹線道路の整備や公共施設の整備といった投資的経費が大幅な増加となったことにより、歳出全体としては、前年度比3.5%の増額となりました。

歳入（市に入ってきたお金）

398億5,080万6千円

前年度から17億7,329万2千円増(+4.7%)



自主財源…市が自らの機能で調達するお金
依存財源…国や県が権限・基準により交付するお金

Topics

市は、平成23年度～30年度の経営改革により市債残高（借金）の縮小に取り組んできました

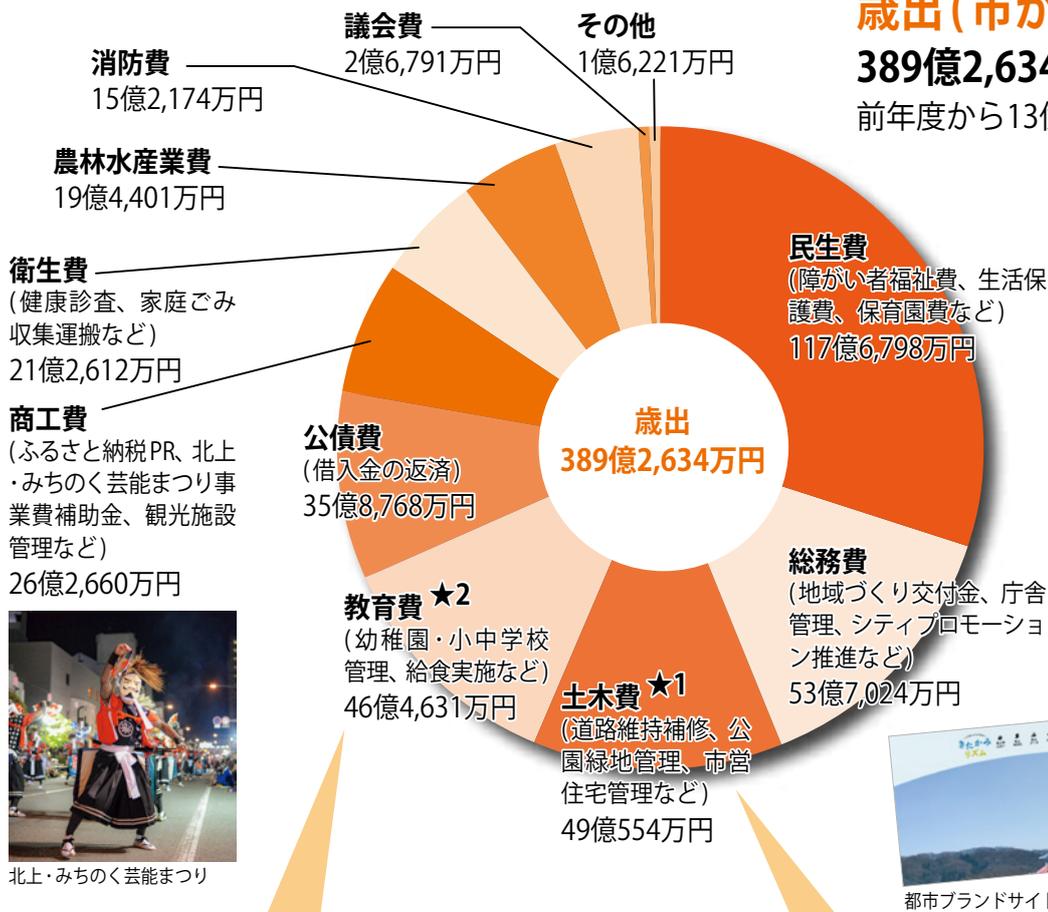


一般会計

歳出(市が使ったお金)

389億2,634万1千円

前年度から13億351万8千円増(+3.5%)



保育園で過ごす園児たち



北上・みちのく芸能まつり



都市ブランドサイト「きたかみリズム」

私たちの身近なところではどんなことにお金が使われたの？

市のお金は皆さんの身近なところに使われています。生活にかかせない道路・橋、子どもたちが通う学校関係に使われたお金のうち、主なものについて紹介します。



- ★2 教育費(学校建設費)
 - 学校の大規模改修や設備改修に使われました。
 - 【長寿命化改良工事】
 - 南小学校 3億821万円
 - 【トイレ便器洋式化工事】
 - 黒沢尻東小学校 1億831万円
 - 黒沢尻西小学校 1億468万円
 - 北上中学校 1億199万円
 - 北上北中学校 4億222万円
 - など



成田黒沢尻線

- ★1 土木費
 - 道路や街灯の管理、冬の間の除雪費用、橋の修理などに使われました。
 - 【主な道路新設改良】
 - 成田黒沢尻線整備事業 6億3897万円
 - 飯豊北線整備事業 3億651万円



長寿命化を行った南小学校

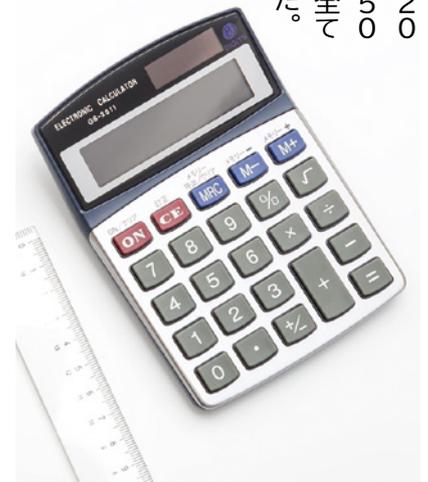
学校	支出済額	児童・生徒1人当たり
小学校	3億9,739万円	7万8千円
中学校	6,634万円	2万5千円

事業科目	事業概要	支出済額	1世帯当たり
道路維持費	道路・街路灯の維持管理など	7億5,427万円	2万円
うち除排雪関連	除排雪業務委託、ロードヒーティング管理など	4億2,622万円	1万1千円
道路新設改良費	道路の新設や拡幅など	23億4,375万円	6万2千円
橋りょう費	橋りょうの修繕工事や長寿命化工事など	4億9,462万円	1万3千円

特別会計

■特別会計決算額の一覧

会計	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	74 億 4,720 万円	74 億 4,454 万円	265 万円
後期高齢者医療	15 億 5,216 万円	15 億 4,900 万円	316 万円
介護保険	78 億 1,567 万円	78 億 1,339 万円	228 万円
工業団地事業	20 億 8,248 万円	19 億 8,661 万円	9,587 万円
農業集落排水事業	8 億 4,843 万円	8 億 4,838 万円	5 万円
駐車場事業	2 億 4,442 万円	2 億 4,022 万円	420 万円
宅地造成事業	4,175 万円	3,051 万円	1,123 万円
電気事業	1 億 6,906 万円	1 億 3,170 万円	3,736 万円
土地取得	565 万円	565 万円	0
合計	202 億 682 万円	200 億 5,000 万円	1 億 5,682 万円



9つの特別会計の合計は歳入が202億682万円、歳出が200億5000万円となりました。30年度は全ての特別会計で黒字決算となりました。

※歳入と歳出は表示単位未満四捨五入のため、差し引きと合計が一致しない場合があります。

北上市の 財政状況

健全化判断比率を公表します

市町村などの財政の健全度を示す健全化判断比率の数値は、いずれも基準を下回り健全な状態です。

実質公債費比率は、行政改革期間中の投資的経費の抑制により、公債費のピークである平成26年度以降は改善傾向が続いています。また、将来負担比率についても、平成19年度には200%を超えていましたが、市債の償還が進み、改善傾向が続いています。

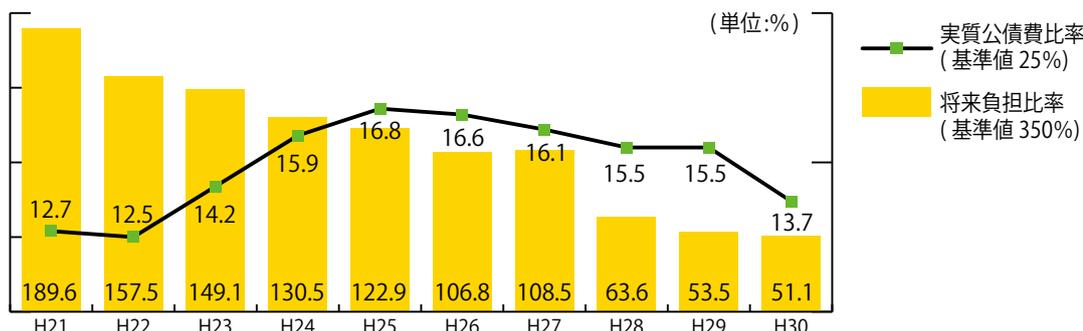
なお、各会計や公営企業は黒字決算であるため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は、算定されていません。

■用語の解説

実質公債費比率：借入金返済額などの大きさを指標化したもので、借入金についての資金繰りの程度を示す指標ともいえます
将来負担比率：借入金や将来支払って

■健全化判断比率の動き

※実質公債費比率・将来負担比率とも基準値を下回り健全な状態です



いく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化したもので、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標ともいえます